

授業概要

本講では、簿記の個別論点と精算表および合計残高試算表までを講義します。授業では、春期「初級簿記」で学習した基本的な簿記をもとに、さらに実践的な簿記を学びます。中級簿記を履修する場合、簿記の基礎を把握した上で履修してください。授業の前半は、商品売買、現金預金、手形と電子記録債権、有形固定資産、その他の取引等の論点を学びます。後半は主に帳簿組織や決算手続きを中心に学習し、8桁精算表と合計残高試算表の作成までを行います。簿記一巡の流れのどこを学んでいるか、理解できるようにしてください。

授業計画

第 1 回	簿記一巡の流れ：仕訳・転記・試算表・損益計算書/貸借対照表・勘定締め切り
第 2 回	商品売買：3分法と分記法、掛取引、クレジット売掛金
第 3 回	現金預金：現金過不足、普通預金・定期預金、当座預金、小口現金
第 4 回	手形・電子記録債権債務の会計処理
第 5 回	有形固定資産の会計処理、減価償却の定額法、定率法
第 6 回	その他の取引：①未収入金・未払金、貸付金・借入金、手形貸付借入、前払・前受金など
第 7 回	その他の取引：②仮払金仮受金、立替金・預り金、受取商品券、差入保証金、消費税など
第 8 回	第1回～第7回の総まとめ
第 9 回	中間試験
第10回	帳簿組織：①主要簿と補助簿、仕訳帳と総勘定元帳、小口現金出納帳の作成
第11回	帳簿組織：②商品有高帳（先入先出法）（移動平均法）の作成
第12回	決算手続き：①現金過不足の処理、当座借り越し、貯蔵品、貸倒引当金、
第13回	決算手続き：②減価償却費の計算、売上原価の算定、消費税納付、経過勘定項目など
第14回	総合問題：①合計残高試算表の作成
第15回	総合問題：②8桁精算表の作成
第16回	定期試験

到達目標

8桁精算表と貸借対照表、損益計算書（報告書形式まで）理解できる

履修上の注意

1. 授業中の私語厳禁。スマートフォンは授業中カバンの中にしまっておくこと。
2. 「電卓（12桁）」を持参すること。スマートフォンでの計算使用は認めません。
3. 交通機関遅延以外、授業の遅刻は認めません。時間厳守をお願いします。

予習・復習

1. 教科書の目次を見ながら各項目やキーワードを自分で説明できるようにすること。
2. 授業で学んだ論点は必ず、問題集で復習すること。
3. 簿記の習得は、短期間で可能です、集中して問題集を解いてください。

評価方法

中間試験 40%、定期試験 60% 授業態度不良者は「不可」評価とする。

テキスト

- ・教科書名：合格テキスト 日商簿記3級
- ・著者名：TAC 簿記検定講座
- ・出版社名：TAC 出版
- ・出版年（ISBN）：最新版